

2023年10月20日

各 位

株式会社北國フィナンシャルホールディングス
株式会社 QR インベストメント**「QR2号ファンド」による投資実行について**

株式会社北國フィナンシャルホールディングス（代表取締役社長：杖村 修司）グループの株式会社QRインベストメント（代表取締役社長：浜野 文雄）は、APB株式会社（本社：福井県越前市、代表取締役 堀江 英明）に投資を実行しましたことをお知らせいたします。

APB は、“究極のバッテリー” と呼ばれる全樹脂電池を開発するスタートアップ企業で、2050年までに世界が実現を目指す脱炭素社会（カーボンニュートラル）に貢献する企業です。

当社は本ファンドを通じて、地域社会をはじめとした全てのステークホルダーの皆さまと共に、持続可能な社会の実現に向けて取り組んでまいります。



- 【商 号】 APB 株式会社
【代表取締役社長】 堀江 英明
【本 社 所 在 地】 福井県越前市庄田町 31-1-5
【事 業 内 容】 次世代電池である「全樹脂電池」の研究・開発・製造及び販売
【ホ ー ム ペ ー ジ】 <https://apb.co.jp/>

記

◆「全樹脂電池」で12兆円市場を目指す APB

APB は、世界でオンリーワンの技術で開発した、樹脂集電体を用いたリチウムイオン電池である「全樹脂電池」の製造を手がける会社です。樹脂からできているため、金属集電体を用いた従来のリチウムイオン電池の“弱点”であった発火・発熱の危険性がないのが最大の特徴です。また、従来のリチウムイオン電池に比べて、製造プロセスを大幅に削減できることで、低コストでの生産ができます。

APB の堀江英明社長は、世界で初めてリチウムイオン電池を搭載した EV 車・日産「リーフ」

のバッテリーシステムを発明したことで知られています。堀江社長は、2024 年末に全樹脂電池の量産開始を目指し、高速製造ラインの開発を進めています。

今年3月には、APBは世界最大のエネルギー企業であるサウジアラムコとの業務提携を発表しました。樹脂の原料となる石油の調達を安定化させると共に、世界市場への進出を見据えて中東やアジアの大手企業との連携を進めています。



◆APB 株式会社 堀江 英明 代表取締役社長のコメント

「全樹脂電池のグローバル展開に向けて、新たな資金調達をスタートさせた中で、地元北陸の QR インベストメント様から最初に投資をいただけたことを誇りに思っております。12兆円と言われる世界のリチウムイオン電池市場を掴み、安心・安全な全樹脂電池を普及させることで、カーボンニュートラルな社会を実現してまいります。」

◆出資の背景について

世界で急成長しているリチウムイオン電池市場において、APBは独自の技術でオンリーワンのポジションにいます。安全性やコストなどの競争力も、高いと考えております。また、サステナビリティの視点から、リサイクル性の高さや、製造時のCO2排出量が少ないことなど、環境負荷に配慮した「未来の蓄電池」です。

北陸発のスタートアップ企業を支援し、北陸に環境的および社会的なポジティブ・インパクトを与えること、北陸からイノベーションを起こすことが我々QRインベストメントの使命です。今回のAPBへの出資を通して、それらが実現するものと信じています。

◆QR 2号ファンドについて

お客さまの多様なニーズにお応えするため、幅広い領域への投資を行います。グループ機能を柔軟に活かした経営サポートにより、企業や地域の持続的な成長に貢献します。

名称	QR 2号ファンド投資事業有限責任組合（略称：QR 2号ファンド）
設立	2023年7月3日
出資者	無限責任組合員（GP）：株式会社QRインベストメント 有限責任組合員（LP）：株式会社北國銀行
存続期間	25年（但し、合意により2年間の延長可能）

投資対象	議決権取得制限に該当しない全ての企業。
------	---------------------

以上